

ブロックチェーン技術が築く 地方創生の可能性

— ブロックチェーンは地方の仕事と生活を変えるのか

ブロックチェーンは、複数のコンピューターで取引を管理する仕組みで、将来は多方面で社会インフラになる可能性を秘めています。今回のカンファレンスでは地方創生など幅広い分野での活用を探ります。

BLOCKCHAIN

TECHNOLOGY

第1部

基調講演



「ブロックチェーン技術が築く地方創生の可能性」

講師: 平野 洋一郎 氏

インフォテリア株式会社 代表取締役
ブロックチェーン推進協会 代表理事

PROFILE

熊本県生まれ。熊本大学を中退し、ソフトウェア開発ベンチャー設立に参画。ソフトウェアエンジニアとして8ビット時代のベストセラーとなる日本語ワードプロセッサを開発。1987年～1998年、ロータス株式会社(現:日本IBM)でのプロダクトマーケティングおよび戦略企画の要職を歴任。1998年、インフォテリア株式会社創業。2007年、東証マザーズに上場、2018年、東証第一部へ市場変更。

第2部

事例紹介

CASE 1 「福岡発ベンチャーがブロックチェーンに取り組む意義」

■講師: 畑村 匡章 氏 株式会社グッドラックスリー 取締役

CASE 2 「飛騨信組の電子地域通貨『さるぼぼコイン』による地域活性化の取り組み」

■講師: 川田 修平 氏 株式会社フィノバレー 代表取締役社長

CASE 3 「ブロックチェーンとトークンエコノミーによる地域プロスポーツの新しい可能性」

■講師: 内村 安里 氏 熊本バスケットボール株式会社 代表取締役CEO/共同代表

CASE 4 「熊本におけるマイニングファーム構想と地方創生」

■講師: 竹元 一真 氏 熊本電力株式会社 代表取締役CEO

2018年

8/3



◎時間/17:30 開場、18:00～21:00 終了予定

◎会場/市民会館シアーズホーム夢ホール [大会議室]
熊本市中央区桜町1番3号

対象 企業、団体、自治体の方

定員 200名(先着順受付)
※定員になり次第受付締切

参加費
無料

要申込

- 主催/熊本ブロックチェーンカンファレンス2018実行委員会
(熊本日日新聞社、山都町、熊本バスケットボール株式会社、熊本電力株式会社、株式会社かんのんざか)
- 後援/一般社団法人 ブロックチェーン推進協会(BCCC)